大阪大学大学院生命機能研究科

博士課程 学生募集要項

＜2026年4月・第1年次入学＞

〔５年一貫制博士課程〕

（2025年8月25日赤字部分修正）

大阪大学

大学院生命機能研究科

生命機能研究科の求める学生像

1. アドミッション・ポリシー

生命機能研究科では、生命科学、医学、理工学における最先端の実験研究と理論研究を融合し、新たな学問分野を開拓しようという高い意欲を持つ人を求めています。出身学部や経歴にこだわらず、博士課程で学び、考え、高い目標を見つけ、将来さまざまな分野でリーダーとなる強い意志と広い視野を持つ人材を求めています。

2. 入試選抜の基本方針

・入学者の選抜は、口述試験、英語能力（TOEFL iBT 、TOEIC Listening & Reading Test 又は IELTS(アカデミック・モジュール)のスコア）及び出願書類を基に総合して行います。

・口述試験では、志願者の卒業研究、若しくは生命機能研究科で取り組みたい分野の研究に関する基礎知識や専門知識の理解度に加え、研究対象へのこだわり、想像力、判断力など研究者として必要な資質を有しているかを評価します。決して一般的な筆記試験で必要とされる網羅的な知識の量ではありません。

・外部英語試験の スコアが以下の基準点に満たない場合は出願が認められませんので、基準点を必ず確認の上、出願してください。

外部英語試験	トータルスコア
TOEFL iBT	62 点
TOEIC Listening & Reading Test	600 点

外部英語試験	オーバーオール・バンドスコア
IELTS(アカデミック・モジュール)	6 点

生 命 機 能 研 究 科 の 概 要

1. 教育理念

20 世紀の生命科学は、遺伝子工学、分子細胞生物学、生物物理学、ゲノム科学などの急速な進歩を基礎にして、遺伝子やタンパク質など生命体を構成する要素（生命素子）の物質的基盤について目覚ましい理解をもたらしてきました。しかし、生命は、単なる物質の集合によって成り立っているのではなく、それら生命素子が動的かつ有機的に統合されて成り立つシステムとして理解すべきであると考えられます。

生命機能研究科は、生命素子がどのように統合されて生命システムが構築されるのかを明らかにすることが 21 世紀の生命科学に求められている大きな課題であると捉え、これからの生命科学の中心として発展すべき新しい学問領域を創成することを目標としています。そのため医学系、工学系、理学系の学問を融合した新しい研究体系を構築し、５年一貫制博士課程の教育を通じて、大学や研究機関の最先端研究現場で高度な専門家や次世代の最先端研究を担う研究者として活躍する人材、そして社会のより広い分野でリーダーとして活躍する人材を育成します。

2. 教育プログラム

・最先端の知識・技術の教育

生命機能研究科では、医学・生命科学と工学系テクノロジー・理論との融合によってこれまでにない新分野を創成することを目指しています。国内外の当該分野で、先導的な役割を果たしているスタッフから最先端の知識と技術を教授するとともに、学問分野の融合を目指した教

育を行います。このような教育体制により、次世代の先導的生命科学分野を開拓する世界レベルの人材を育成し、かつ生命機能研究の成果を社会に還元できる人材を育成します。

・個性を生かした教育

生命機能研究科に入学を希望する者として、大阪大学のみならず他大学を含めた理系学部（医学部・歯学部・人間科学部・心理学部・基礎工学部・工学部・薬学部・理学部・農学部など）出身者、更には、素養と目的意識を持った文系学部出身者をも対象と考えています。なお、出身が異なる学生諸君への教育にあたっては、未経験分野の基礎教育を行うとともに、それまで身に着けた知識と技術（個性）を埋もれさせることなく、むしろ生かせるような教育を実施します。

・幅広い教育

新たな技術・分野の創出には多様な経験が必要です。また、生命機能研究科の成果を多様な方法により社会に還元するためにもその人材が幅広い体験を持つことは有用です。

最先端の知識と技術を教授するとともに異分野を体験できる教育、民間企業研究所や寄附講座の招へい教授による教育、更には、企業における研究体験を含めた教育等の社会的ニーズを意識できる教育を行っています。

3. 標準修業年限及び卒業要件について

・標準修業年限

標準修業年限は 5 年であり、通算 7 年を超えて在学することはできません。ただし、修業年限（在学期間）には、休学期間（最長 5 年）を含みません。

・修了要件

5 年以上（7 年以内）在学し、所要の授業科目について 40 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、最終試験に合格すると博士の学位が授与されます。また、優れた研究業績をあげた者については、早期に博士の学位を取得する道も開かれています。なお、所定の要件を満たし中間考査に合格した者には、修士の学位が授与されます。本研究科で修得できる修士及び博士の学位は、生命機能学、工学、理学及び学術から選択することができます。

学　生　募　集　要　項

1. 募　集　人　員

専攻	研究分野	選抜日程	募集人員
生命機能	ナノ生体科学、細胞ネットワーク、時空生物学、個体機能学、脳神経工学、生体ダイナミクス、生命理工学	夏季日程	55 名
		冬季日程	若干名

※募集人員の夏季日程 55 名には、冬季日程の若干名を含みます。

2. 出　願　資　格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 我が国の大学又は専門職大学を卒業した者及び 2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）及び 2026 年 3 月 31 日までに指定した者となる見込みの者

(9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの

(10) 2026 年 3 月 31 日までに大学又は専門職大学に 3 年以上在学した者であって、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの（当該単位の修得の状況及び法科大学院が当該法科大学院において必要とされる法学の基礎的な学識を有するかどうかを判定するために実施する試験の結果に基づき、これと同等以上の能力及び資質を有すると認められたものを含む。）

(11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者（2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者を含む）、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修す

ることにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者（2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者を含む）、又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者を含む）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの

(12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

3. 出 願 資 格 審 査

(1)「2.出願資格(9)～(12)」の適用を受けようとする者は、出願前に個別の出願資格審査を行います。この審査により出願資格が認められた者に限り出願することができます。

申請期間：＜夏季日程＞2025 年 5 月 19 日（月）～5 月 23 日（金）
＜冬季日程＞2025 年 10 月 6 日（月）～10 月 10 日（金）

申請方法：申請書類は郵送してください。角形 2 号（33×24 ㎝）の封筒の表に「出願資格（1 年次）審査書類在中」と明記し、必ず「簡易書留郵便」で申請期間内に必着するよう郵送してください。日本国外から出願する場合は、EMS・DHL 等追跡が可能な方法で郵送してください。

送付先 ：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-3
大阪大学大学院生命機能研究科大学院係

結果通知：＜夏季日程＞2025 年 6 月 6 日（金）
＜冬季日程＞2025 年 10 月 24 日（金）
※速達・簡易書留により結果を通知します。但し、海外在住者には、メールにより結果を通知します。なお、電話、メール等による問合せは一切受け付けません。

(2)出願資格審査書類

書　類　等	摘　要
出願資格審査申請書	所定の様式に必要事項を記入してください。
出願資格審査履歴書	
研究実績（業績）調書	
志　望　理　由　書	
卒業(修了)証明書 成　績　証　明　書	・最終学校の卒業(修了)証明書(見込みを含む)及び成績証明書の原本。 ・出身大学長等が作成し、厳封したもの（日本語又は英語）。 ただし、偽造防止用紙による証明書は、厳封を要しません。 ・大学等の編入学者は編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください（退学により編入学前の学校を離籍した場合も含む）。 ・大学等の在学者は在学証明書も併せて提出してください。
日本国内在住者のみ 出願資格審査結果通知封筒	長型 3 号（12×23.5cm）の封筒の表面に、住所・氏名・郵便番号を明記し、速達・簡易書留用料金として 760 円分の切手を貼付してください。

4. 出　願　手　続

(1) 出願期間及び検定料納入期間

選抜日程	出願期間及び検定料納入期間
夏季日程	2025 年 6 月 9 日（月）～6 月 20 日（金）16 時
冬季日程	2025 年 10 月 27 日（月）～11 月 7 日（金）16 時

出願方法：
申請書類は郵送してください。角形 2 号(33×24 cm)の封筒の表に「博士課程（1 年次）入学願書在中」と明記し、必ず「簡易書留郵便」で出願期間内に必着するように郵送してください。日本国外から出願する場合は、EMS・DHL 等追跡が可能な方法で郵送してください。やむを得ず持参する場合は、出願書類等を一括して角形 2 号（33×24 cm）の封筒に入れ、出願期間の 9:00-11:00、13:00-16:00 の間に、下記大学院係窓口で提出してください。
送付先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-3　大阪大学大学院生命機能研究科大学院係

(2) 出願書類（出願資格審査の結果、出願が認められた方は、＊の書類の提出は不要です。）

成績証明書・卒業（見込）証明書の提出について
- 原則として原本を提出してください。
- 電子発行のみで原本が提出できない場合は、コピーを提出してください。
- 出身大学から発行される原本が 1 枚のみで提出できない場合は、出身大学または公的機関が内容に相違がないことを証明した「原本証明付きのコピー」を提出してください。

出願書類等	摘　要
入学願書	所定の様式に必要事項を記入してください。
受入れ承諾書	所定の様式に必要事項を記入し、志望する教員の署名を得たうえで提出してください。
＊志望理由書	所定の様式に必要事項を記入してください。
＊成績証明書	・出身大学長等が作成し、厳封したもの(日本語又は英語)の原本。 ・ただし、偽造防止用紙による証明書は、厳封を要しません。 ・大学等の編入学者は編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください(退学により編入学前の学校を離籍した場合も含む)。 ・高等専門学校出身者は、本科及び専攻科両方の成績証明書を提出してください。
＊卒業(見込)証明書	・出願資格教育機関長等が作成し、厳封したもの(日本語又は英語)の原本。ただし、偽造防止用紙による証明書は厳封を要しません。 ・海外の大学等の卒業者で、証明書内に学位名が記載されていない場合は、併せて学位に関する証明書の提出が必要です。
学士号授与証明書	「2.出願資格の(2)」により出願する者のみ提出してください。なお、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請予定の者は、在籍している教育機関の長が作成した学士の学位授与申請予定証明書を提出してください。
口述試験調書	「5 選抜方法（2）試験実施方法」に従い、所定の様式を使用し、作成してください。
口述試験発表用図表（6部）	「5 選抜方法（2）試験実施方法」に従い、作成してください。

英語能力証明書	指定された日(夏季日程：2023 年 6 月 1 日、冬季日程：2023 年 10 月 1 日)以降に受験した公開テスト で、次の①～③いずれかの原本を提出してください。 ①TOEIC Listening & Reading Test 公式認定証 ②TOEFL iBT 受験者用控えスコア票 ③IELTS 成績証明書 TOEIC Listening & Reading Test を受験した方は、QR コード付きの「デジタル公式認定証」を A4 用紙に印刷したものも認めます。 ただし、次の①～③の試験は認めません。 ①TOEIC：TOEIC-IP、TOEIC Speaking & Writing Test、 TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test ②TOEFL：TOEFL-ITP 、TOEFL iBT Home Edition ③IELTS：General Training Module ※英語が母国語の国の国籍を有する者又同国に所在する大学を卒業(見込み)の者については、英語能力証明書の提出が不要となる場合があります。該当する方は、夏季日程は 2025 年 5 月 23 日（金）まで、冬季日程は 2025 年 10 月 10 日（金）までに末尾「問い合わせ先」に問い合わせてください。
検定料収納証明書	本研究科 HP 掲載の「入学検定料支払いの流れ」に従い、検定料 30,000 円（※別途システム手数料がかかります。）を納入後、検定料納入システムから検定料収納証明書を印刷してください。 なお、次の者は検定料不要です。 ・国費外国人留学生として入学する者。
受験票 写真票	所定の様式に必要事項を記入してください。写真は、上半身正面向き、無帽(宗教上、医療上の理由による場合を除く。)で、出願前 3 か月以内に撮影した同一のものを貼付してください。（写真の大きさ縦 4cm×横 3cm ）
日本国内在住者のみ 発送票	所定の様式に必要事項を記入してください。
日本国内在住者のみ 受験票送付用封筒	長形 3 号(12 ㎝×23.5 ㎝)の封筒の表面に、住所・氏名・郵便番号を明記し、速達用料金として 410 円分の切手を貼付してください。
外国人志願者のみ 在留カードの写し（両面）	日本に在住する外国人の志願者は、提出してください。 （注）法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。
外国人志願者のみ パスポートの写し	海外に在住する外国人の志願者のみ、顔写真のあるページを提出してください。
外国人志願者のみ 国費留学生証明書	国費外国人留学生として入学する者は提出してください。
社会人のみ 社会人入学希望者研究計画書	企業等に在籍のまま入学を希望する者は、所定の様式に必要事項を記入し、提出してください。

（3）出願に当たっての留意事項

①**本研究科は 5 年一貫制博士課程であり、指導教員の受入れ内諾は非常に重要であるため、志願者は出願に先立ち、必ず志望する教員と事前に連絡を取り、受入れの内諾を得たうえで出願時に「受入れ承諾書」を提出してください。**（定年退職や異動のある場合がありますので、在学期間中、継続して指導を受けることが可能かどうか、個別に指導教員に確認してください。）

海外の大学を卒業・卒業見込みの外国人留学生の方へ

志望する教員と初めて連絡を取る前に、必ず下記の URL から「アドミッション支援デスク（AAD）」に申請してください（本学内で既に研究生等の学籍がある者を除く）。AAD に申請せずに出願した場合、出願書類は受理されませんのでご注意ください。

AAD は、志願者が教員に最初にコンタクトを取る際のサポートシステムです。申請することで、ご自身の情報を効率的に教員に届けることができます。申請者は後日、教員へのコンタクト可否の結果を受け取ります。「コンタクト可」の結果を受け取った方は教員に連絡を取り、受入れの内諾を得てください。

※　願書には AAD への申請年月日を記入してください。

※　申請からコンタクト可否の結果が出るまでおよそ 3 週間程度かかります。出願期間に間に合うよう、余裕を持って申請してください。AAD では、出願締切の少なくとも 2 ヵ月前までに申請することを推奨しています。

大阪大学アドミッション支援デスク（AAD）
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/inbound/dragongate
Email: contact@ryumon.osaka-u.ac.jp

②企業等に在職のまま入学を希望する者は、入学後の研究計画について、指導を希望する教員と十分相談のうえ「社会人入学希望者研究計画書」を提出してください。なお、一般学生と同様に修学には十分な研究時間を要すること、博士論文は本研究科に所属する教員の研究室で実施された研究の成果でなければならないことを事前に了承のうえで出願願います。（入学手続き時にその旨を記した「確認書」を提出していただきます）。

③婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。

④出願書類の一部項目は、Acrobat Reader で入力できるフォームとなっています。最新の Acrobat Reader をダウンロードしてご利用ください。なお、氏名や住所などの項目は、他の様式にも自動反映されます。文字数が多く入力フォームに収まらない場合や、文字がすべて表示されない場合は、入力フォームを使用せず、様式を印刷して手書きで記入してください。

⑤出願書類の記入事項及び書類等に不備がある場合は、原則として受理しません。

⑥出願書類受理後は、書類の差替えや記入事項の変更は認めません。また、提出された出願書類は返還しません。なお、納入された検定料は次の場合を除き返還できません。

・出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合

・検定料を誤って二重に納入した場合

⑦障がい等のある者で、受験上特別な配慮を希望する場合は、夏季日程は 2025 年 5 月 23 日（金）まで、冬季日程は 2025 年 10 月 10 日（金）までに末尾「問い合わせ先」に申し出てください。

5. 選　抜　方　法

入学者の選抜は、次に示す口述試験、英語能力（TOEFL iBT 、TOEIC Listening & Reading Test 又は IELTS(アカデミック・モジュール)のスコア）及び出願書類を基に総合して行います。

(1) 試験実施日時

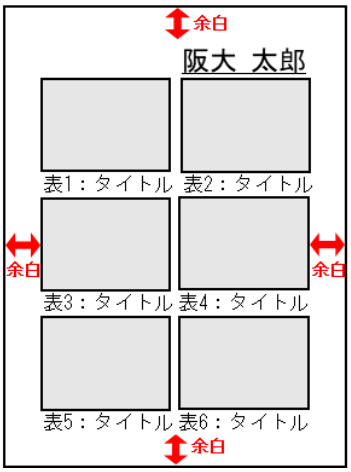
選抜日程	実施日	時間	試験科目
夏季日程	2025 年 7 月 30 日（水）	9：00 ～ 18：00（予定）	口述試験
冬季日程	2025 年 12 月 2 日（火）		

夏季日程の入試日が順延となる場合について

台風等の悪天候などにより、試験当日の午前 6 時の時点で大阪府吹田市に「暴風警報」又は「特別警報」が発令されている場合は、入試の実施日を 7 月 31 日（木）に順延します。

なお、順延の詳細情報については、研究科ウェブサイトによりお知らせします。

(2) 試験実施方法

試験時間	20 分（発表 7 分、質疑応答 13 分）
発表内容	以下の①または②について発表していただきます。いずれかについての**「口述試験調書」**を作成し、出願時に提出してください。 ① 卒業研究のテーマについて、目的、重要性、実験法とその原理、応用の可能性、社会的な意義などについて、ご自身の言葉で説明をしてください。もし卒業研究が面白くなければ、『なぜ面白くないのか』を語ってください。 ② 生命機能研究科で研究したいテーマ及び希望する研究室について、目的、重要性、実験法とその原理、応用の可能性、社会的な意義などに加えて、更に近未来にご自身が取り組んでみたい実験（実験法、意義、応用など）について、可能な限り具体的に考えを説明してください。
発表方法	以下の要領で**「図表」**を作成し、出願時に提出してください。試験当日、試験室内には、提出された「図表」を A1（約 84cm×60cm）に拡大したものを掲示します。志願者は、この拡大版図表のみを使用して発表を行っていただきます。 ・A4 サイズ縦型用紙の片面 1 枚に収まるように作成し、同一のものを 6 部提出する。 ・右上に氏名を記載する。 ・上下左右に 2cm 以上の余白を設定する。 ・白黒またはグレースケールで印刷する。 ・図表(掲載する図などの数に指定なし)とそれぞれのタイトルのみ記載し、説明文などは記載しない。 ・拡大印刷時に画質が荒くなる可能性があるため、図や文字の大きさに注意する。 （作成例） 
評価基準	①または②に関する基礎知識や専門知識の理解度に加え、研究対象へのこだわり、想像力、判断力など研究者として必要な資質を有しているかを評価します。一般的な筆記試験で必要とされる網羅的な知識の量を評価するものではありません。

(3) 試験会場

夏季日程	大阪大学コンベンションセンター https://facility.icho.osaka-u.ac.jp/convention/map.html	
冬季日程	大阪大学生命機能研究科生命システム棟 2 階 https://www.fbs.osaka-u.ac.jp/ja/general/access/	

日本国外に在住されている方へ

試験当日に会場に来ることができない場合は、Zoom 等を利用してオンラインで口述試験を受けることができます。遠隔受験を希望される場合は、願書の該当欄で「希望する」を選択してください。

(4) 受験票の発送について

受験票、受験者心得及び口述試験時間割を、夏季日程は 7 月中旬頃、冬季日程は 11 月下旬頃に発送します。なお、受験票が試験の 1 週間前までに到着しないときは、末尾「問い合わせ先」に問い合わせてください。

(5) 合否判定について

合否判定は、口述試験、英語能力及び出願書類を総合した得点上位順に合格者を決定します。

6. 合 格 者 の 発 表

夏季日程は 2025 年 8 月 8 日（金）、冬季日程は 2025 年 12 月 12 日（金）の 10 時から本研究科ウェブサイトにおいて、合格者の受験番号を発表します。また、合格者に対しては、合格通知書を郵送します（日本国外在住者にはメールでお送りします）。なお、電話、メール等による合否に関する照会には、一切応じません。

（システムの障害等やむを得ない事態が生じた場合、ウェブサイトへの掲載を中止あるいは中断することがあります。ウェブサイトへの掲載は、情報提供の一環として行うものですので、正式には合格通知書で確認してください。）

なお、入学手続きについては、2026 年 2 月中旬頃に本研究科ウェブサイトに掲載します。

7. 入 学 料 及 び 授 業 料

(1) 入学料・・・282,000 円

(2) 授業料・・・535,800 円(半期 267,900 円)

※ 入学料、授業料は予定額であり、在学中に金額の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

8. 優秀な私費外国人留学生に対する授業料免除制度（特待留学生授業料免除）

大阪大学では、研究力の強化と留学生の受入増進のために大学院入学試験において優秀であると認められる私費外国人留学生に対する「特待留学生授業料免除制度」を実施しています。

この入試は本制度の対象です。候補者となるためには、本入試に合格し、本研究科内の選考において優秀と認められることが必要です。

本制度への申請を希望する私費外国人留学生（免除開始時点において、在留資格が「留学」である者。ただし、民間奨学金等により、授業料支援を目的とした授業料相当額の支援を受けている者や国費外国人留学生、外国政府派遣留学生は除きます。）は、入学願書の申請希望欄に☑を付してください。候補者に決定した者には、合格通知送付時に通知します。

9. 入 試 情 報 の 開 示

夏季日程における個人成績については、受験者本人（代理人は不可）からの申請に基づき、記号(合格者は「S」、不合格者のうち上位 2 割を「A」、下位 2 割を「C」、その間を「B」)で開示します。（冬季日程については開示しません。）申請書類送付 1 か月を経過しても個人成績が届かない場合は、末尾「問い合わせ先」に問い合わせてください。

申請期間：2025 年 9 月 1 日（月）～12 日（金）

申請方法：下記必要書類を同封した角形 2 号(33×24 ㎝)封筒の表に「成績開示請求在中」と明記し、申請期間内に必着するよう、必ず「特定記録郵便」で郵送してください。

送 付 先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-3　大阪大学大学院生命機能研究科大学院係

必要書類：

必要書類等	摘　　要
入学試験個人成績開示依頼書	本研究科ウェブサイトから所定の様式をダウンロードしてください。
受　験　票	
返信用封筒	長型 3 号(12×23.5cm)の封筒に申請者の郵便番号・住所・氏名を明記し 320 円分(特定記録郵便料金)の郵便切手を貼付してください。

10. 個 人 情 報 の 取 扱 い に つ い て

(1) 出願時及び入学手続き時に提出された氏名、住所及びその他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理及び選抜試験実施）」、「合格者の発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。また、入学者については、「教務関係（学籍管理及び修学指導等）」、「学生支援関係（健康管理、奨学金業務及び就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係（奨学金業務等）」のために利用します。

(3) (1)及び(2)で得られた個人情報は、上記のほか、「入学者選抜方法及び大学教育の改善」、「大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）」のために利用することがあります。ただし、個人が特定される形で、その成果が公表されることはありません。

(4) (1)、(2)及び(3)の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部又は一部を提供します。

11. そ の 他

(1) 入学願書の履歴、入学資格等について虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(2) 不測の事態（自然災害や感染症の全国的な拡大等）により、入学試験の実施方法等を変更する場合があります。変更等があった場合は、本研究科ウェブサイトを通じて、あるいは受験票の交付の際などにお知らせします。場合によっては、入学試験の実施を延期することもありますので、必ずウェブサイト等で確認するようにしてください。

(3) 郵便料金の改定が実施された場合は、本募集要項に記載した切手の料金に変更が生じる可能性があります。切手料金の変更が生じる場合は、本研究科ウェブサイトの「NEWS&TOPICS」内でお知らせしますので、出願等の手続きを取る前に、必ず事前に確認してください。

(4) 本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「大阪大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、合格しても入学が認められない場合や、希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合がありますのでご留意ください。詳細については、ウェブサイトを参照してください。

日本語：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/secur_exp/outline

英語：https://www.osaka-u.ac.jp/en/research/secur_exp/outline

－　問い合わせ先　－
大阪大学大学院生命機能研究科　大学院係
〒565-0871　大阪府吹田市山田丘 1-3
Email: seimei-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp
受付時間　9:00～12：00　及び　13：00～16：00
（土・日曜日・祝日、年末年始を除く。）